

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月10日

上場会社名 クラスタテクノロジー 株式会社
コード番号 4240 URL <https://www.cluster-tech.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 良紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 駒井 幸三
四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6726-2711

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	209	0.8	5	77.5	5	76.0	2	88.5
2022年3月期第1四半期	211	46.3	22		22		22	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.44	
2022年3月期第1四半期	3.88	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	1,584	1,436	90.7	252.42
2022年3月期	1,635	1,434	87.7	251.98

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 1,436百万円 2022年3月期 1,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	451	2.8	37	26.8	38	26.2	31	27.4	5.50
通期	940	3.8	90	10.7	91	10.5	76	33.3	13.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	5,692,800 株	2022年3月期	5,692,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	208 株	2022年3月期	208 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	5,692,592 株	2022年3月期1Q	5,692,592 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、長期化するロシアによるウクライナ侵攻とG7諸国の対ロシア経済制裁が続き、原油や天然ガス、鉱物資源、穀物等の価格の高騰と中国のゼロコロナ政策による都市のロックダウンに伴うサプライチェーンの混乱等により大きな下振れリスクを抱えております。

わが国製造業においては、資源価格高騰に加えて、2022年初めからの欧米諸国の利上げによる円安が収益を悪化させております。

このような状況下、当社は、「2024年3月期の売上10億円超の達成」を目標として、事業方針「高精度・高機能に特化した樹脂製品の提供」及び「対処すべき課題」の具体的施策として、①「新規開拓に向けた営業力の強化」、②「環境への対応と未来への商品開発」、③「生産力の強化と人材育成」を推進しております。

世界的な環境意識の加速に対応するため、今期より②を「顧客提案力の向上と未来への商品開発」から「環境への対応と未来への商品開発」へと変更いたしました。地球環境や環境政策なども視野に入れた商品開発を進めるとともに、前期に開発いたしました高摺動バイオマスポリアミドコンパウンド「PasCom S40」について、ビジネス探索を行い、売上拡大へ向けて改良を重ねてまいります。

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業について、映像機器分野は、デジタルカメラ市場において、レンズ交換式タイプは、5月にほぼ前年並みの水準へと回復傾向にありますが、当社においては、前期にミラーレス機種や人気機種の好調に支えられ、大幅に増加した反動もあり、前年同期比では減少いたしました。

OA機器分野は、ほぼ前年並みで推移しております。

産業機器分野は、前年好調であった反動による顧客の生産調整等もあり、前年同期比では減少いたしました。

レジャー分野は、引き続き海外のアウトドア需要の好調もあり、前年同期比で大幅に増加いたしました。

一方、「新規開拓に向けた営業力の強化」については、Web会議での打ち合わせを活用しながら、訪問可能な顧客は増加しており、積極的な顧客訪問を実施しております。

パルスインジェクター®（以下、PIJという）は、Web会議の活用や顧客訪問により、大学研究室及び各企業の研究・開発部門へ積極的にアプローチをしております。引き続き、研究開発を支えるツールとして多分野への展開を推進いたします。

マクロ・テクノロジー関連事業について、樹脂成形材料、樹脂成形品ともに景気動向の影響は受けにくいものの、引き続き一部顧客への減少等により、総じてほぼ前年並みで推移しております。

高耐熱性・高熱伝導性・低温硬化などの固形封止材「エポクラスター®クーリエ」をはじめとする固形封止材につきましては、引き続き半導体デバイスメーカーや産業機器メーカー等へサンプル供給しながら事業を展開・推進しております。

営業利益は、ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業における売上製品構成の変化に伴う売上高総利益率の減少、製造費用の増加、販売費及び一般管理費の増加等により減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は209百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は5百万円（前年同期比77.5%減）、経常利益は5百万円（前年同期比76.0%減）、四半期純利益は2百万円（前年同期比88.5%減）となりました。

当第1四半期セグメントの業績は次のとおりであります。

①ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料及び機能性精密成形品並びにP I J 関連製品の当第1四半期累計期間の売上高は170百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は72百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

②マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料、樹脂成形碍子及び金型・部品の当第1四半期累計期間の売上高は39百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は10百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

③その他事業

その他の事業につきましては、医療薬品容器の異物検査事業などにより、当第1四半期累計期間の売上高は0百万円（前年同期比36.0%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期比237.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期末日における資産は、2022年3月期末より50百万円減少し、1,584百万円となりました。

これは、主に現金及び預金の減少38百万円によるものです。

(負債)

負債合計は、2022年3月期末より53百万円減少し、147百万円となりました。

これは、主に買掛金の減少27百万円、賞与引当金の減少25百万円によるものです。

(純資産)

純資産は、2022年3月期末より2百万円増加し、1,436百万円となりました。

これは、当期純利益2百万円の計上によるものです。

また、自己資本比率は、2022年3月期末に比して3.0ポイント増加して90.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日の「2022年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」で公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,235	907,939
受取手形及び売掛金	149,301	129,414
商品及び製品	26,992	26,009
仕掛品	32,505	35,984
原材料及び貯蔵品	40,500	40,098
その他	3,666	2,636
流動資産合計	1,199,201	1,142,082
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	154,643	159,966
土地	160,500	160,500
その他(純額)	90,097	93,284
有形固定資産合計	405,240	413,750
無形固定資産	613	478
投資その他の資産	30,611	28,572
固定資産合計	436,465	442,801
資産合計	1,635,667	1,584,883
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,439	26,864
未払法人税等	20,428	5,771
賞与引当金	40,841	15,651
その他	69,842	84,527
流動負債合計	185,552	132,814
固定負債		
長期未払金	3,972	3,972
その他	11,734	11,158
固定負債合計	15,706	15,130
負債合計	201,259	147,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	5,927	5,927
利益剰余金	187,885	190,416
自己株式	△126	△126
株主資本合計	1,434,407	1,436,938
純資産合計	1,434,407	1,436,938
負債純資産合計	1,635,667	1,584,883

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	211,197	209,456
売上原価	119,472	126,383
売上総利益	91,725	83,073
販売費及び一般管理費	69,391	78,055
営業利益	22,333	5,017
営業外収益		
受取利息	154	146
売電収入	516	497
その他	1	36
営業外収益合計	672	680
営業外費用		
支払利息	86	74
売電原価	197	174
営業外費用合計	284	249
経常利益	22,721	5,449
税引前四半期純利益	22,721	5,449
法人税、住民税及び事業税	623	958
法人税等調整額	-	1,959
法人税等合計	623	2,918
四半期純利益	22,098	2,530

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。